

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-136158(P2010-136158A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-310755(P2008-310755)

【国際特許分類】

H 04 N	5/225	(2006.01)
G 03 B	19/12	(2006.01)
G 03 B	7/099	(2006.01)
G 03 B	17/18	(2006.01)
G 03 B	13/06	(2006.01)
G 03 B	17/40	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/225	B
G 03 B	19/12	
G 03 B	7/099	
G 03 B	17/18	Z
G 03 B	13/06	
G 03 B	17/40	Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影レンズから入射する光束を測光するための測光ユニット、撮影レンズから入射する光束を少なくとも光学ファインダユニット側に導くための光学部材、撮影レンズから入射する光束を電気信号に変換する撮像素子、情報を表示する外部表示手段を備える撮像装置であって、

前記外部表示手段が情報を表示する状態において、撮影レンズから入射する光束を測光するための前記測光ユニットに該光束が導かれるのを遮光する遮光状態が実現可能に構成され、

前記遮光状態において、前記光学ファインダユニットのファインダレンズを介して入射する外光を前記測光ユニットにより測光して、得られた測光値に基づいて情報表示中の前記外部表示手段の明るさを制御可能に構成されることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記撮像素子により得られる電気信号に基づく画像を前記外部表示手段に逐次表示する電子ファインダモードを有し、

前記電子ファインダモード中に、前記遮光状態で前記光学ファインダユニットのファインダレンズを介して入射する外光を前記測光ユニットにより測光するとき、得られた測光値に基づいて前記外部表示手段の明るさを制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

撮影画像再生表示可能に構成され、

前記撮影画像再生表示中に、前記遮光状態で前記光学ファインダユニットのファインダレンズを介して入射する外光を前記測光ユニットにより測光するとき、得られた測光値に基づいて前記外部表示手段の明るさを制御することを特徴とする請求項1又は2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記光学部材は、撮影レンズから入射する光束を前記光学ファインダユニットの方向への光束と焦点検出ユニットの方向への光束とに分離させるための可動ミラーユニットであり、

前記可動ミラーユニットは、前記光束を分離させる第1の位置と前記遮光状態を実現する第2の位置との間で可動に設けられていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記電子ファインダモード中に、又は撮影画像再生表示操作が行われると、前記可動ミラーユニットを前記第2の位置に駆動した状態で、前記測光ユニットにより測光し、得られた測光値に基づいて前記外部表示手段の明るさを制御することを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

【請求項6】

前記光学部材は、撮影レンズから入射する光束を前記光学ファインダユニットの方向への光束と前記撮像素子の方向への光束とに分離させる固定ミラーであり、

前記光学ファインダユニットへの光路中に配置された撮影情報表示用の内部表示手段を備え、

該内部表示手段は、前記遮光状態を実現する様に駆動可能に構成されていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項7】

前記電子ファインダモード中に、又は撮影画像再生表示操作が行われると、前記遮光状態を実現する様に前記内部表示手段を駆動した状態で、前記測光ユニットにより測光し、得られた測光値に基づいて前記外部表示手段の明るさを制御することを特徴とする請求項6に記載の撮像装置。

【請求項8】

セルフ撮影モードを備え、撮影指示操作から撮影までのセルフ時間を複数設定可能に構成され、

前記電子ファインダモード中に所定の時間以上のセルフ時間が選択されたとき、前記所定の時間までは前記測光ユニットにより測光し、得られた測光値に基づいて前記外部表示手段の明るさを制御し、前記所定の時間以降撮影までの間は前記測光ユニットによる測光を行わず、前記外部表示手段の明るさを下げる特徴とする請求項2、5、又は7に記載の撮像装置。

【請求項9】

前記外部表示手段が可動で、前記外部表示手段の向きを検知可能に構成され、

前記電子ファインダモード中に前記外部表示手段が被写体側に向いているのが検知されたときには、前記測光ユニットによる測光を行わないことを特徴とする請求項2、5、又は7に記載の撮像装置。